

- 全般**
- 令和6年1月1日(月)1610頃、石川県能登地方を震源とする最大震度7(M7.6、深さ約10km)の地震が発生。
 - 同日1630以降、自主派遣による災害派遣により、第2航空団(千歳)航空機2機による航空偵察等を実施。
 - 同日1645、石川県知事から陸上自衛隊第10師団長(守山)に対して災害派遣要請があり、同時刻受理。

- 主な活動**
- **空自輪島分屯基地へ、避難を要する住民を最大約1,000名を受け入れ。**
 - **内閣府調査チーム、各県からの応援部隊(消防・警察)の輪島市内等への航空機による輸送支援。**
 - **輪島分屯基地の隊員が、基地付近で倒壊しているビルにおいて、要救助者全員(3名)を救助。**
 - **輪島市内の病院から、人工透析を必要とする患者の輸送を実施。**



主な航空偵察(18機)	
陸	東方航空隊(立川)UH-1×1(ヘリ映伝)、第1ヘリコプター団(木更津)CH-47×2及びLR-1×1、第3飛行隊(八尾)UH-1×1、中方航空隊(八尾)UH-1×2(ヘリ映伝)、東北方航空隊(仙台)UH-1×1
海	第4航空群(厚木)P-1×1、第23航空隊(舞鶴)SH-60×1、第2航空群(八戸)P-3C×1
空	第2航空団(千歳)F-15×2、第5航空団(新田原)F-15×2、第8航空団(築城)F-2×2、百里救難隊(百里)U-125A×1

主なLO派遣状況(4か所11名)		
派遣先	人員	派遣部隊等
石川県庁	1名	石川地方協力本部(金沢)
	2名	陸自第14普通科連隊(金沢)
	1名	海自舞鶴地方總監部(舞鶴)
輪島市	1名	空自輪島分屯基地(輪島)
福井県庁	1名	福井地方協力本部(福井)
	2名	陸自第372施設中隊(鯖江)
	1名	海自舞鶴地方總監部(舞鶴)
富山県庁	2名	富山地方協力本部(富山)